



指揮／クリスティアン・アルミンク
©Shumpei Ohsugi Christian Arming

桐朋アカデミー・オーケストラ
特別演奏会

9.19 sat

会場 富山県民会館ホール
開演 15:30(開場15:00)
入場料 3,000円(税込)
※当日券の販売はありません。
(全席自由/友の会会員・学生・
生徒・児童 無料)

ワーグナー：歌劇「リエンツィ」序曲
R.シュトラウス：交響詩「ドン・ファン」作品20
ブラームス：交響曲 第4番 ホ短調 作品98

©Taiji Yamazaki

指揮／中田 延亮

桐朋学園大学院大学
桐朋アカデミー・オーケストラ
協奏曲のひととき

10.17 sat

会場 富山県民会館ホール
開演 15:30(開場15:00)
入場料 1,000円(税込)
※当日券の販売はありません。
(全席自由/友の会会員・学生・
生徒・児童 無料)

独奏 桐朋学園大学院大学生
(オーディション選抜者)

※プログラムは9月に行われる学内オーディ
ションを経て決定されます。

©K.Miura

指揮／梅田 俊明

桐朋アカデミー・オーケストラ
第73回
定期演奏会

11.17 tue

会場 富山県民会館ホール
開演 19:00(開場18:30)
入場料 2,000円(税込)
※当日券の販売はありません。
(全席自由/友の会会員・学生・
生徒・児童 無料)

J.シュトラウスII：喜歌劇「こうもり」序曲
シューマン：交響曲 第3番
変ホ長調「ライン」作品97
ブラームス：交響曲 第2番 二長調 作品73

桐朋オーケストラ・アカデミー
第54回室内楽定期演奏会

11.6 fri / 7 sat

会場 富山市民プラザ アンサンブルホール
開演 6日 19:00(開場18:30)・7日 15:00(開場14:30)
入場料 無料(全席自由)

※学内選抜グループによる室内楽プログラム ※満席となった際は入場をお断りすることがございます。

※演奏曲目・出演者等は変更になる場合もあります。演奏会等に関する最新情報は、本学ホームページ(<https://www.tohomusic.ac.jp/orchestra/>)をご覧ください。
※桐朋オーケストラ・アカデミー友の会会員・学生・生徒・児童の皆さまは、無料でご入場いただけますが、友の会会員証等のご提示がない場合は、ご入場
いただけません。なお、満席となった際は入場をお断りすることがございますので予めご了承ください。
※一般有料チケットは8月4日(火)より下記プレイガイドにて発売予定。(当日会場でのチケット販売はございません)

【チケット販売所】アスネットカウンター、アーツナビ、桐朋学園音楽部門事務局 富山グループ

主催／桐朋オーケストラ・アカデミー、桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学、(公財)富山市民文化事業団、富山市、富山県教育委員会、(株)北日本新聞社
後援／富山県、(一社)富山県芸術文化協会

【お問い合わせ】桐朋学園音楽部門事務局 富山グループ TEL.076-434-6800

桐朋
オーケストラ・アカデミー
「友の会」
会員募集中

※公演日当日のご入会は
受付しておりません。
ご入会方法は、本学ホーム
ページをご覧ください。

2026秋季コンサート 出演者プロフィール

Conductor

9.19 sat

指揮

クリスティアン・アルミンク

Christian Arming



©Shumpei Ohsugi

ウィーン生まれ。ウィーン国立音楽大学でレオポルト・ハーガーに学んだあと、小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン交響楽団や新日本フィルハーモニー交響楽団にデビュー。チェコのヤナーチェク・フィルの首席指揮者、スイスのルツェルン歌劇場およびルツェルン交響楽団の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団首席客演指揮者、2024年からは同団の音楽監督を務めている。

これまでにチェコ・フィル、ベルリン・ドイツ響、フランクフルト放送響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、ウィーン響、ベルギー国立管、トールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマンダ管、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管などヨーロッパのトップ・オーケストラと共演。ほかにも、ボストン響との再共演のほか、シンシナティ響、ヒューストン響、アトランタ響、N響、上海響など多くのオーケストラに招かれている。

オペラではフランクフルト歌劇場やストラスブール歌劇場などで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》などを指揮。新日本フィル時代には《レオノーレ》《フィレンツェの悲劇》など、オペラ・プログラムにも積極的に取り組んだ。2019年に小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトで《カルメン》、2024年に東京二期会オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》、2026年1月には東海市芸術劇場で新演出の《蝶々夫人》を指揮した。

レコーディングも多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シューベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲ニ短調などで高い評価を得ている。2025年には、広響音楽監督就任披露公演で取り上げたR.シュトラウス／アルプス交響曲、2026年4月には、被爆80周年の「平和の夕べ」コンサートで演奏したマーラー／交響曲第4番のライブ録音をリリースした。

Conductor

10.17 sat

指揮

中田 延亮

Nobuaki Nakata



©Taiji Yamazaki

京都生まれ。筑波大学医学専門学群在学中に桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに入学、コントラバスを専攻する一方で指揮を学び、在学中より活動を開始する。その後2005年より本拠を欧州に移しウィーン市音楽院古楽科などで更に学んだ。また巨匠ジャン・フルネ氏に認められ、最晩年の生徒として師事し薫陶を受ける。

07年ブルガリアのスタラザゴラ歌劇場でヨーロッパデビュー、またドナウ交響楽団主催の国際指揮者コンクールで第1位を受賞。08年にはブラジルにおける日本人移民100周年を記念して皇太子殿下（現 天皇陛下）ご臨席のもと、リオデジャネイロの伝統ある市立劇場で開催された「日伯交流音楽会」に招聘されペトロブラス交響楽団を指揮した。14年、群馬県で群馬バロックオーケストラを創設、同団とは後期バロックをレパートリーの中心として共に活動を続けている。

17年に開催されたBlue Danube オペラ指揮者コンクールで第2位入賞。現代作品の演奏にも積極的に取り組み、アンドリス・ゼニティス（ラトヴィア）、ガブリエル・ペニード（ブラジル）など各国の若い世代の作曲家から絶大な信頼を寄せられている。

これまでにラトヴィア国立交響楽団とのエストニアツアー、ポルト・アレグレ交響楽団（ブラジル）、ブラショフ歌劇場（ルーマニア）などの海外オーケストラへの客演や、国内のオーケストラとも数多く共演を続けている。2008-10年スタラザゴラ歌劇場首席客演指揮者。

コントラバス奏者としては新日本フィルハーモニー交響楽団とバレンシア歌劇場管弦楽団に在籍した他、オーストリア・スペインの古楽団体、室内アンサンブルの公演にも数多く参加した。

Conductor

11.17 tue

指揮

梅田 俊明

Toshiaki Umeda



©K.Miura

東京に生まれる。5歳よりピアノを始め、井上直幸、新井精氏等に学ぶ。1984年桐朋学園大学音楽学部を卒業。1986年同研究科を修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、コントラバスを小野崎充、ピアノと室内楽を三善晃の各氏に師事する。1983、84年には来日中のジャン・フルネ氏にも学んだ。1986年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し、研鑽を積んだ。

帰国後、1989年12月より92年4月まで日本センチュリー交響楽団指揮者を務めた。1990年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者に就任。1992年4月より1996年3月まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団の指揮者の任も果たした。2000年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み、2006年3月までその任を務めた。

客演としては、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、

東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニーを始め、国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。2001年第1回、及び2004年第2回仙台国際コンクール（いずれもヴァイオリン、ピアノの2部門で開催）では、全ての協奏曲を指揮し、出場者、聴衆、国内外の審査員から絶賛を博した。2006年には大ブームとなったドラマ「のだめカンタービレ」に、演奏及び指揮指導で参加し注目を集めた他、レコーディングにも参加。国内だけではなく、1996年1月には南西ドイツ・フィルハーモニーとスロヴァキア・フィルハーモニーの定期演奏会に出演、いずれも好評を博した。

的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い。東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

桐朋
アカデミー・
オーケストラ

「桐朋オーケストラ・アカデミー」は、プロ・オーケストラ奏者育成のための教育機関として、富山市の協力のもと、1995年9月、呉羽に開校いたしました。開校以来、桐朋学園の伝統である合奏教育を主とした独自のカリキュラムを編成し、内外の一流の教授陣が指導にあたっています。「桐朋アカデミー・オーケストラ」は、その教育成果を発表する実践の場として、教授陣及び、ここで研修する国内で選抜された学生を中心に組織され、定期演奏会、特別演奏会、桐朋学園大学院大学生をソリストとする協奏曲のひととき等の公演を行い、地域の文化活動にも貢献しています。